


ふりがな 氏名	かがみ みき <b>加賀美 幹</b>	都道府県 <b>岡山県</b>	
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> <li>Junior Youth Spiritual Empowerment Program のアニメーター（ファシリテーター）</li> <li>岡山大学 マッチングプログラムコース</li> </ul>		
私のESD活動	ジュニアユースが社会を形成する様々な因子を見極め社会の実態を洞察する活動を東南アジアでファシリテート		

### 活動の概要

Junior Youth Spiritual Empowerment Program (JYSEP) は12-15歳程のジュニアユース (JY) を対象としたプログラムです。JY が持つ特有の可能性と周囲からの受ける影響の大きさを認めた上で、彼らが自分たちに影響を与える社会の勢力を見極め、自分たちの社会の実態を洞察できるための場として世界各国で行われています。私が関わったグループでは10人ほどの日本人学校の生徒と週に一回集まりました。言葉の表現力を養うためにストーリー形式のブックを使い、読解やディスカッションを設け、内容も道徳的価値観や精神力について取り上げて考えます。ブックの他に音楽やアート、スポーツも取り入れ、その JY のグループがお互いに信頼でき、上記のような話題について話し合える準拠集団を目指しながら、私たちユースがファシリテーターとしてサポートします。グループはまた、JY たちが企画し運営するサービスプロジェクトを行います。それは美德を学ぶ子供クラスのパログラムのお手伝いや、地域における奉仕です。私のグループではリサイクルできるものを地域から集め、ガラージセールを行い、集めたお金をカンボジアの学校に寄付しました。それは、「奉仕活動」として JY が自分の個性を発見し、それを生かし、様々な能力を伸ばす機会になります。またこの活動は子供クラス、ユースや大人の活動と相互に関わり、地域全体が参加する地域作りの活動の一環です。

○「Junior Youth Spiritual Empowerment Program」 <https://www.youtube.com/watch?v=0YEK3edTSVQ>

### 今後の活動や協働への展望

様々な活動を通して学んだことは、たとえ JYSEP や他の多くの活動が意味あるものだとしても、何かしらの変化をもたらしたい時、これらの活動が統一した目的を持たないとその変化は起きないのだということです。このコンファレンスでは、日本の他の ESD 活動に携わっているユースと関われる機会として、私たちがそれぞれの活動を通じて達成しようとしている目的や自分たちが見据える未来の日本を話し合い、分かち合ったそのビジョンを持ち帰って今後の活動に活かせればと考えています。私たちは確かに多様な活動に携わっていますが、それが孤立したものでも、ましては相反しているものではなく同じものを目指しているという意識を持って取り組んでいけたらと思っています。活動の中でも協働し、例えば JYSEP のサービスプロジェクトを通し、他の活動と関わることで、目指すものに向けて共に積み重ねていけたらと思っています。地域のコミュニティセンターなどと協力して、JYSEP が地域作りに少しでも貢献できるように、すでに地元で人が携わっている活動とも絡めて推進していきたいです。また JYSEP のコンセプトや活動がどのように日本の教育機関に貢献できるか、自分に与えられたチャンスの中で未来の教育に携わっていく仲間と会話を広げていきたいです。